別記様式第8号(別記1の第6の1、別記2の第5、別記3の第5、別記4の第6、別記7の第6の1の(1)関係)

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業(都道府県広域捕獲活動支援事業)鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業及び鳥獣被害防止対策促進支援事業(中山間地域等鳥獣被害防止施設整備事業)の評価報告(令和5年度報告)

岡山県

1 被害防止計画の作成数、特徴等

【岡山市】

獣類は、イノシシ・ヌートリア、鳥類はカワウ・ヒドリガモによる被害が顕著なため、防除体制(環境整備)・被害地管理(防護施設)・個体数管理(有害捕獲)の3点から総合的に対策を行っていく。□また、被害発生地域において、講演会等を行い、被害防止に関する啓発・普及に努め、被害防止体制の整備を推進する。

【倉敷市】

対象鳥獣による農林水産業等に係る被害を防止するため、「個体数管理」、「被害管理」、「生息地管理」の3点から総合的に対策を行う。

倉敷市、倉敷市鳥獣被害対策実施隊、倉敷市有害鳥獣駆除班協議会、晴れの国岡山農業協同組合で構成する倉敷市鳥獣被害防止対策推進協議会を組織し、効率的に被害防止施策を実施する。

【井原市】

イノシシやニホンザル、加えてアナグマ・ヌートリア等の中小獣類による被害が増加傾向にある。このことについて、市・県事業や国庫事業を活用し、防護柵設置の推進、及び有害鳥獣駆除班による捕獲や追い払いなど総合的に対策することとしている。

【総社市】

従来の駆除、捕獲体制に加え、農作物に繰り返し被害を加える個体の捕獲により、個体数の減少に努めるよう機材の研究、設置、専門家の意見、関係者との連帯を強化し、電気柵などによる侵入防止の防衛的措置とともに捕獲柵の設置による被害防止対策を推進する。また、農業者、集落、農産物生産組合などが一体となって被害防止を推進する環境、意識づくりの推進を図る。

【高梁市】

過去の捕獲実績及び被害状況を踏まえ、依然として被害状況が深刻であると判断されるため、各対象鳥獣の捕獲頭数を増やす。

ただし、捕獲頭数及び被害状況に大きな変化が見られる場合は、その都度見直しを図る。

【津山市】

・津山市全域を対象として、令和2年度より3年計画で令和4年度を目標年度として策定実施した。

・対象鳥獣はイノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ヌートリア等の小型動物、カラス等鳥類である。

・特に被害の多いイノシシと、増えつつあるニホンジカとによる被害拡大が予想されるため、平成26年から設置している実施隊を中心に捕獲活動を継続・強化することとした。

【新庄村】

令和2年度より3ヵ年計画で策定し、令和4年度を目標に計画した。

対象鳥獣は被害の多いイノシシ、ニホンジカ、ニホンザルを対象に設定。

【勝央町】

・勝央町全域を対象として、令和2年度より3ヵ年計画で策定し、令和4年度を目標年度とした。

・対象鳥獣はイノシシ、ニホンジカ、ヌートリア、カラス類である。

【西粟倉村】

・西粟倉村全域を対象として、令和2年度より3ヶ年計画で策定し、令和4年度を目標年度とした。

・対象鳥獣はイノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ・イタチ等の小型動物、カラス類、ハト類、スズメ類、サギ類、カワウ等の鳥類である。

・特に被害の多いイノシシ及びニホンジカによる被害拡大が予想されるため、平成26年から設置している実施隊を中心に捕獲活動を継続・強化することとした。

【美咲町】

令和3年度から3ヵ年計画で策定し、令和5年度を目標年度とした。

対象鳥獣は、イノシシニホンジカ、サル、ヌートリア、タヌキ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、スズメ、カワウ、アオサギ、ゴイサギ、ダイサギ、ヒヨドリ、ハクビシン、アナグマである。

2 事業効果の発現状況

【岡山市】

実施隊を設置していることにより、有害鳥獣の被害防止対策の体制整備が整い、農家はじめ市民への啓発活動や指導などがスムーズに行えている。

また、緊急時においては、警察や関係機関・庁内部署等と連携した連絡体制で対応している。

【倉敷市】

・市内各地区を活動区域とする11の駆除班で構成された倉敷市有害鳥獣駆除班協議会に対象鳥獣の捕獲業務を委託することで、各地区の状況に合わせた効率的な捕獲活動が実施できた。

・補助金の交付により農家等が設置する侵入防護柵の設置を促進することで、令和5年度は、令和3、4年度と比較してイノシシによる被害額が減少した。

・狩猟の担い手確保のため、狩猟免許取得費用等を助成した。

【井原市】

捕獲体制については、従来どおり猟友会井原分会・芳井分会・美星分会の各分会ごとの駆除班により実施。捕獲檻による有害鳥獣の駆除において、エサやり・檻の見回り・捕獲した場合の連絡等については、地域との合意・協力のもとで行っている。

○被害防止効果

市単独事業による、侵入防止柵・捕獲檻設置助成や国庫事業を活用した集落柵の設置により、有害鳥獣による被害が軽減され、営農意欲の向上が期待される。今後、左記防護柵による被害軽減や有害捕獲により、被害金額や被害面積の低減に□□なっていくと考える。

○捕獲状況

計画期間である令和3年度から令和5年度にかけての捕獲頭数は、全体として増加傾向にある。

○人材育成状況

新規狩猟免許及び猟銃取得者に対し、取得費用の一部を助成することで、捕獲従事者の育成を図っている。

【総社市】

狩猟者が減少する中、一定数以上の有害捕獲は維持できているため、個体数の減少に伴う被害の軽減が期待できる。

【高梁市】

緊急捕獲活動支援事業により対象鳥獣の捕獲頭数が維持されている。

【津山市】

・防護柵の設置を進めてきたことにより、被害が減少するとともに営農意欲の維持に繋がり、継続的な農業生産活動が行われるようになっている。

・防護柵を設置することで野生鳥獣の農地への直接侵入を防ぐと同時に、河川や集落道などの開口部周辺へ捕獲わなを設置することにより捕獲の効率化にも繋がっている。

・有害鳥獣の捕獲活動について、実施隊の高齢化や担い手の減少が進んできているので、新規の実施隊員確保につながるよう、研修等が必要と考えられる。

【新庄村】

新庄村、真庭地区猟友会を中心に各関係機関で新庄村鳥獣被害防止対策協議会を設置している。被害は横ばい状況である。近年シカが増えており、有害捕獲も年々増加傾向にあり、これに伴い被害も増大していると推測される。

防護柵設置と有害捕獲により被害の増加を食い止めたいと考えている。

【勝央町】

・侵入防止柵の設置及び駆除活動により、被害軽減が図られている。

【西粟倉村】

・防護柵の設置を進めてきたことにより、被害が減少するとともに営農意欲の維持に繋がり、継続的な農業生産活動が行われるようになっている。

・防護柵を設置することで野生鳥獣の農地への直接侵入を防ぐと同時に、河川や集落道などの開口部周辺へ捕獲わなを設置することにより捕獲の効率化にも繋がっている。さらに集落の住民と捕獲者との連携で集落全体で協力した取組を実施している地域も現れている。

・集落によっては、捕獲者が近所にいないため、集落内の住民が捕獲のための免許を取得して、実際にそういった捕獲活動を実施するなどの例も見られ、人材の確保に繋がっているとみられる一方で、経験が浅いことから捕獲が直ちに進んでいない状況も見受けられ、技術の向上のために研修等が必要と考えられる。

【美咲町】

地域の体制整備、被害防止効果、捕獲状況、人材育成状況、耕作放棄地の解消等様々な角度から記載する。

集落を囲うように侵入防止柵を設置し、河川や農道等開放部分の近くの山中などに捕獲檻やわなを設置することで効率的な捕獲を実施することができるようになり、捕獲頭数も伸びてきている。

3 被害防止計画の目標達成状況

【岡山市】

獣類は、イノシシの捕獲実績が増加したため、被害金額・被害面積ともに目標を達成することができた。

鳥類は、カワウとヒドリガモの被害が顕著であり、目標達成とはならなかった。

【倉敷市】

積極的な捕獲活動の結果、対象鳥獣の捕獲頭数は増加し、前年度よりも被害面積、被害金額は減少している。

【井原市】

各年度とも被害金額の目標は達成されているが、令和4、5年度の被害面積の目標達成率は70%を下回っている。そのため、農地への侵入防止を中心として、今後も継続して被害防止対策を講じる必要がある。

【総社市】

概ね目標値に近いところまで対策できているが、依然として被害が多い状況である。狩猟者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加など課題が多いが、継続して防除及び捕獲を合わせた対策を講じる必要がある。

【高梁市】

目標を達成するためにはさらなる捕獲強化が必要である。

【津山市】

・本計画では被害金額及び被害面積の両方を目標設定している。

・被害金額については、現状13,826千円、目標11,059千円に対し、実績15,758千円で達成率は~70%であった。被害面積については、現状7.69ha、目標6.14haに対し、実績13.63haで達成率は~383%であった。

【新庄村】

令和元年度は、被害面積・金額ともに非常に少ない年だったため、目標値は現状と同じ値とした。

令和5年度の被害額は目標値161千円に対して328千円、被害面積は目標値0.42haに対して0.34haとなっており、被害金額については目標を達成できなかった。

【勝央町】

・本計画では被害金額及び被害面積の両方を目標設定している。

・被害金額については、現状値544千円、目標285千円に対し、実績4,553千円で達成率は~1548%であった。被害面積については、現状値0.58ha、目標0.23haに対し、実績2.98haで達成率は~686%であった。

【西粟倉村】

・本計画では被害金額及び被害面積の両方を目標設定している。

・被害金額については、現状12,511千円、目標10,825千円に対し、実績11,284千円で達成率は72.8%であった。被害面積については、現状13.70ha、目標11.06haに対し、実績12.41haで達成率は48.9%であった。

【美咲町】

・被害金額については、現状：14,306千円、目標：10,541千円に対し実績：16,176千円で達成率~50%となり、目標を達成できなかった。

・被害面積については、現状：12.76ha、目標11.3haに対し、実績：9.47haで、達成率225%となり、目標を達成できた。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価
										被害金額(千円)			被害面積(ha)					
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率			
岡山市地域鳥獣被害防止対策協議会	岡山市	3	イノシシ ニホンジカ	捕獲通知装置の導入	7 基	岡山市地域鳥獣被害防止対策協議会	R3.7	100%	・市内7か所に狩猟用捕獲通知装置を設置。本装置はR2年度に導入した装置の性能を向上させたものであり、R2年度導入機器の捕獲通知機能に加え、赤外線カメラによって対象鳥獣の寄付きも通知し、スマートフォンでライブ映像を確認できる。これにより、狩猟者が見回りのために何度も捕獲檻まで足を運ぶ負担が軽減され、対象鳥獣の寄付きも映像で確認できることから、効率的な捕獲が可能。	-	-	-	-	-	-	狩猟者の負担が軽減され、効率的な捕獲ができるようになった。	イノシシについては、年によってばらつきがあるものの、金額・面積ともに目標達成率が高くなっている。このことから、個体数推定調査や各種研修、捕獲装置の導入といったソフト事業及び有害捕獲事業の成果が引き継ぎ事業を推進し、継続的に被害防止に取り組んでいきたい。 一方で、ヌートリアやカモに関しては目標達成率が低くなっており、成果に結びついていないことがうかがえる。イノシシと比較すると小型であるため、難しいと思うが、イノシシを参考として、PDCAサイクルに則った事業推進に努めていきたいと思う。 (備前県民局 農畜産物生産課)	イノシシによる被害金額や被害面積は共に目標達成できており、捕獲施設の整備や捕獲体制の強化によって捕獲数も増加計画にあり、積極的な捕獲活動に取り組んでいると考える。 イノシシ以外の鳥獣被害に対しても、担い手育成や地域を巻き込んだ防護と捕獲の一体的な対策に取り組んでいただきたい。
		4	イノシシ ニホンジカ	遠隔捕獲装置の導入	4 基		R4.6	100%	・市内4か所に狩猟用遠隔捕獲装置を設置。本装置は赤外線カメラによって対象鳥獣の寄付きも通知し、スマートフォンでライブ映像を確認できるほか、画面を操作することで遠隔で捕獲檻の扉を自動させることが可能。これにより、狩猟者が見回りのために何度も捕獲檻まで足を運ぶ負担が軽減され、対象鳥獣の寄付きも映像で確認できるほか、幼獣の後に親が入ったことを確認した上で捕獲することができるため、群れでの捕獲が可能。	-	-	-	-	-	-	狩猟者の負担が軽減され、効率的な捕獲ができるようになった。		
		4	イノシシ ニホンジカ	個体数推定	1 回		R4.8	100%	・令和3年度末までに得られた直近13年間(平成19年度～令和3年度)のデータから、岡山市におけるイノシシの自然増加率や個体数などの推定を行うことで、現状把握するとともに、被害防止計画作成のための基礎資料とする等、被害対策に活用する。	-	-	-	-	-	-	複数のパターンによる将来予測から、今後のイノシシの捕獲計画数などの基礎資料とすることができた。		
		4	イノシシ ニホンジカ	実施隊研修会	1 回		R5.2	100%	・岡山市鳥獣被害対策実施隊を対象に、専門の講師を招いて、地域に対して必要な働きかけや、効率的な防護柵の設置方法、市街地出没時における現場到着時の作業などの講習を行うことで、地域全体の捕獲意識の向上や市街地出没時の円滑な追い払いなどを図る。	-	-	-	-	-	-	他地域での取り組み事例なども紹介されたことで、市街地出没時の実施隊としての動きを理解することができた。		
		4	イノシシ ニホンジカ	野生鳥獣対策研修会	1 回		R5.2	100%	・岡山市内の認定農業者を対象に、専門の講師を招いて、鳥獣被害対策の基礎的な考え方や、対策を導入する際の判断基準、効果的な柵の設置方法などの講習を行うことで、地域全体の被害防除意識の向上や、鳥獣被害を自力で抑制する考え方を身に付ける。	-	-	-	-	-	-	有害鳥獣が被害を及ぼしている現場の写真と具体的な対策の提案により、被害防除のために営農者がすべきことを理解することができた。		
		5	イノシシ ニホンジカ	遠隔捕獲装置の導入	4 基		R5.12	100%	・市内4か所に狩猟用遠隔捕獲装置を設置。本装置はR4年度版の課題であったバッテリー容量が改善されている。赤外線カメラによって対象鳥獣の寄付きも通知し、スマートフォンでライブ映像を確認できるほか、画面を操作することで遠隔で捕獲檻の扉を自動させることが可能。これにより、狩猟者が見回りのために何度も捕獲檻まで足を運ぶ負担が軽減され、対象鳥獣の寄付きも映像で確認できるほか、幼獣の後に親が入ったことを確認した上で捕獲することができるため、群れでの捕獲が可能。	-	-	-	-	-	-	狩猟者の負担が軽減され、効率的な捕獲ができるようになった。		
		5	イノシシ ニホンジカ	実施隊研修会	1 回		R6.2	100%	・岡山市鳥獣被害対策実施隊を対象に、専門の講師を招いて、地域に対して必要な働きかけや、効率的な防護柵の設置方法、市街地出没時における現場到着時の作業などの講習を行うことで、地域全体の捕獲意識の向上や市街地出没時の円滑な追い払いなどを図る。	-	-	-	-	-	-	他地域での取り組み事例なども紹介されたことで、市街地出没時の実施隊としての動きを理解することができた。		
	3	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	2,290 頭	岡山市	-	-	捕獲を強化し、被害の軽減を図る。	3,692	1,581	615%	6.76	3.27	565%	3か年において捕獲数は増加傾向にあり、イノシシの被害は令和5年度には目標を達成しているが、ヌートリア、鳥類の被害が依然として大きいため、引き続き捕獲を強化する必要がある。			
	3	ニホンジカ	緊急捕獲活動支援事業	204 頭		-	-	-	-	-	-	-	-					
	3	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	131 頭		-	-	-	76	371	-2169%	0.14	1.06	-2967%				
	3	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	3 頭		-	-	-	-	-	-	-	-					
	3	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	2 頭		-	-	-	-	-	-	-	-					
	3	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	61 頭		-	-	-	-	-	-	-	-					
3	カワウ	緊急捕獲活動支援事業	27 頭	-		-	-	21,670	24,997	13%	-	-	-					
3	カラス	緊急捕獲活動支援事業	324 頭	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
3	ヒドリガモ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-		-	-	13,600	24,000	-333%	-	-	-					

4	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	2,512 頭	-	-	捕獲を強化し、被害の軽減を図る。	3,692	6,996	-706%	6.76	9.26	-233%
4	ニホンジカ	緊急捕獲活動支援事業	151 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
4	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	389 頭	-	-		76	50	300%	0.14	0.62	-1500%
4	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	10 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
4	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	2 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
4	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	65 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
4	カワウ	緊急捕獲活動支援事業	9 頭	-	-		21,670	26,372	-23%	-	-	-
4	カラス	緊急捕獲活動支援事業	332 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
4	ヒドリガモ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-		13,600	28,850	-535%	-	-	-
5	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	3,322 頭	-	-	捕獲を強化し、被害の軽減を図る。	3,692	2,403	414%	6.76	4.48	404%
5	ニホンジカ	緊急捕獲活動支援事業	185 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
5	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	304 頭	-	-		76	490	-3085%	0.14	1.03	-2867%
5	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	5 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
5	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	3 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
5	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	64 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
5	カワウ	緊急捕獲活動支援事業	5 頭	-	-		21,670	27,170	-44%	-	-	-
5	カラス	緊急捕獲活動支援事業	291 頭	-	-		-	-	-	-	-	-
5	ヒドリガモ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-		13,600	55,360	-1640%	-	-	-
5	ニホンジカ	シカ特別対策等事業	41 頭	-	-	捕獲を強化し、被害の軽減を図る。	-	-	-	-	-	-

倉敷市鳥獣被害防止対策推進協議会	倉敷市	5	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	1325 頭	倉敷市	-	-	交付金の支給により駆除班員の活動意欲が高まり、対象鳥獣の捕獲頭羽数の増加につながった。	2,780	2.58	倉敷市有害鳥獣駆除班協議会の積極的な捕獲活動による捕獲数の増加にも関わらず、被害金額及び被害面積は増加していることから、捕獲数以上に生息数が増加していると推察される。なお、前期の被害防止計画の作成当時の想定を遙かに超えて被害が拡大したため目標値を達成することは出来なかったが、次期の被害防止計画では現状を踏まえた目標を設定し被害は減少傾向にある。引き続き、積極的な捕獲活動を継続するとともに、侵入防護柵の設置等の防除を進める必要があると考えられる。	積極的な捕獲活動を行っており、被害金額は目標未達ではあるものの前年度より減少し、被害面積は目標を大きく上回る達成率となった。引き続き積極的な捕獲活動を継続するとともに、防護柵の設置の推進等により、防護と捕獲を組み合わせた一体的な対策と狩猟者の確保・育成の取組により、被害減少につなげていただきたい。(備中県民局農畜産物生産課)	目標は達成できなかったが、積極的な捕獲活動により減少傾向に向かいつつあり、一定の効果があったと考えられる。今後は、防護対策や生息環境管理の整備等も合わせて取り組んでいただきたい。
		5	ニホンザル	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			0	0			
		5	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	332 頭	-	-			374	0.62			
		5	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	2 頭	-	-			0	0			
		5	タヌキ	緊急捕獲活動支援事業	97 頭	-	-			1,063	0.47			
		5	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	103 頭	-	-			140	0.14			
		5	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	6 頭	-	-		11,673	-2113%	1.52	-10320%		
		5	ノウサギ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			80	0.1			
		5	ハシブトガラス、ハシボソガラス	緊急捕獲活動支援事業	836 頭	-	-			915	1.13			
		5	ニューナイズメ、スズメ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			110	1.1			
		5	ヒヨドリ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			30	0.07			
		5	カワウ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			160	0			
		5	ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			13,924	0.02			
		5	ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			50	0			
		5	トビ、キジバト、カワラバト	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-			36	0.5			

井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	井原市	3	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備[ワイヤーメッシュ柵])	13,013 m	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R4.2.28	100%	有害鳥獣の侵入防止	-	-	-	-	-	-	防護柵の設置により、農作物被害を防止できる。	積極的な捕獲活動により、被害金額は目標を超える達成率となっているものの、被害面積は目標未達の状況となっている。近年、サルによる被害拡大が続き、対応に苦慮されることが多いかと思うが、今後も、導入したGPS発信機等を有効に活用し、防護と捕獲を組み合わせた一体的な対策と狩猟者の確保・育成の取組により、主要作物のぶどう等の被害減少につなげて頂きたい。 (備中県民局農畜産物生産課)	被害金額は未達成だったが、被害金額は目標を達成できており、一定以上の成果が上っている。今後は、近年問題となっているサル等の獣種に対して、複合的な方法で対策に取り組んでいきたい。	
		3	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(イノシシ捕獲檻)	6 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R4.3.16	100%	有害鳥獣の個体数管理(ワイヤーメッシュ柵整備地区及び地区猟友会へ貸与)	-	-	-	-	-	-	防護柵と併せて設置することにより、捕獲効率を高める。			
		3	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル行動域調査用GPS首輪)	6 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R4.3.7	100%	ニホンザルの行動域の把握及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	地獄檻・小型捕獲檻により効率的な捕獲を行うため、位置情報を取得する。			
		3	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル行動域調査用GPS首輪用受信機一式)	2 セット	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.12.27	100%	ニホンザルの行動域の把握及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	地獄檻・小型捕獲檻により効率的な捕獲を行うため、位置情報を取得する。			
		3	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル行動域補足用発信機)	3 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R3.12.22	100%	ニホンザルによる被害事前防除及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	サル群との距離を電波の受信強度から把握できるため、農地での追い払いや銃・小型捕獲檻での捕獲に利用する。			
		3	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル行動域補足用小型発信機)	3 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R4.3.7	100%	ニホンザルによる被害事前防除及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	サル群との距離を電波の受信強度から把握できるため、農地での追い払いや銃・小型捕獲檻での捕獲に利用する。			
		3	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(トレイルカメラ一式)	5 セット	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R4.3.11	100%	ニホンザルの出没状況の把握	-	-	-	-	-	-	ニホンザルの出没状況を確認し、捕獲檻設置場所の検討に利用する。			
		4	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備[ワイヤーメッシュ柵])	5,767 m	各地区(受益農家)	R5.2.27	100%	有害鳥獣の侵入防止	-	-	-	-	-	-	防護柵の設置により、農作物被害を防止できる。			
		4	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(イノシシ捕獲檻)	5 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R5.3.10	100%	有害鳥獣の個体数管理(ワイヤーメッシュ柵整備地区及び地区猟友会へ貸与)	-	-	-	-	-	-	防護柵と併せて設置することにより、捕獲効率を高める。			
		4	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル用小型捕獲檻)	6 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R5.3.10	100%	有害鳥獣の個体数管理	-	-	-	-	-	-	ニホンザルの出没状況に合わせて、随時捕獲檻を移動させ、効率的に捕獲できる。			
		4	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル用地獄檻)	1 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R5.2.16	100%	有害鳥獣の個体数管理	-	-	-	-	-	-	GPS情報から得られたサルの利用頻度が高い地点に設置し、一度に複数頭のサルを捕獲できる。			
		4	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル発信機用受信機)	5 台	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R4.9.5	100%	ニホンザルの行動域の把握及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	地獄檻・小型捕獲檻により効率的な捕獲を行うため、位置情報を取得する。			
		4	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備[ワイヤーメッシュ柵])	7,730 m	各地区(受益農家)	R5.2.27	100%	有害鳥獣の侵入防止	-	-	-	-	-	-	防護柵の設置により、農作物被害を防止できる。			
		5	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備)	895 m	各地区(受益農家)	R6.1.29	100%	有害鳥獣の侵入防止	-	-	-	-	-	-	防護柵の設置により、被害防止が期待できる			
		5	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(イノシシ捕獲檻)	1 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R6.1.29	100%	有害鳥獣の個体数管理(ワイヤーメッシュ柵整備地区及び地区猟友会へ貸与)	-	-	-	-	-	-	防護柵と併せて設置することにより、捕獲効率を高める。			
		5	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル用小型捕獲檻)	6 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R6.3.7	100%	有害鳥獣の個体数管理	-	-	-	-	-	-	ニホンザルの出没状況に合わせて、随時捕獲檻を移動させ、効率的に捕獲できる。			
		5	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル行動域調査用GPS首輪)	1 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R5.11.17	100%	ニホンザルの行動域の把握及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	地獄檻・小型捕獲檻により効率的な捕獲を行うため、位置情報を取得する。			
		5	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル行動域補足用発信機)	4 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R5.11.17	100%	ニホンザルによる被害事前防除及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	サル群との距離を電波の受信強度から把握できるため、農地での追い払いや銃・小型捕獲檻での捕獲に利用する。			
		5	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(サル発信機専用受信機車載アンテナ)	5 基	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R5.11.13	100%	ニホンザルによる被害事前防除及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	R4年度に導入した受信機に接続することで受信感度が向上し、信号を受信しやすくなる。また、車で移動しながら発信機からの信号を探索できる。			
		5	ニホンザル	鳥獣被害防止総合支援事業(LoTカメラ)	5 台	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	R5.11.24	100%	ニホンザルによる被害事前防除及び捕獲補助	-	-	-	-	-	-	主に捕獲檻の監視に使用。市・猟友会駆除班が捕獲檻の状況、サルの出没状況やエサへの誘引状況をインターネットクラウド上で確認でき、捕獲効率の向上と見回り負担軽減につながる。			

3	イノシシ(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	776 頭	井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数管理	8,830	8,359	148%	2.11	1.56	320%	猟友会との連携により有害鳥獣の捕獲に努めている。今後も更なる被害軽減のために、効果的な対策を考えていく必要がある。
3	イノシシ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	262 頭		-	-								
3	ニホンザル(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	77 頭		-	-								
3	ニホンザル(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	37 頭		-	-								
3	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	186 頭		-	-								
3	タヌキ	緊急捕獲活動支援事業	84 頭		-	-								
3	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	179 頭		-	-								
3	カラス類	緊急捕獲活動支援事業	35 頭		-	-								
3	ニホンジカ(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	8 頭		-	-								
3	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	2 頭		-	-								
3	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	14 頭		-	-								
3	カワウ	緊急捕獲活動支援事業	3 頭		-	-								
3	サギ類	緊急捕獲活動支援事業	3 頭		-	-								
4	イノシシ(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	807 頭		-	-								
4	イノシシ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	270 頭	-	-									
4	ニホンザル(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	31 頭	-	-									
4	ニホンザル(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	19 頭	-	-									
4	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	245 頭	-	-									
4	タヌキ	緊急捕獲活動支援事業	90 頭	-	-									
4	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	300 頭	-	-									
4	カラス類	緊急捕獲活動支援事業	29 頭	-	-									
4	ニホンジカ(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	15 頭	-	-									
4	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	6 頭	-	-									
4	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	12 頭	-	-									
4	カワウ	緊急捕獲活動支援事業	7 頭	-	-									
4	サギ類	緊急捕獲活動支援事業	9 頭	-	-									
5	イノシシ(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	1,039 頭	-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数管理	8,830	8,688	114%	2.11	3.22	-344%		
5	イノシシ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	441 頭	-	-									
5	ニホンザル(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	41 頭	-	-									
5	ニホンザル(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	19 頭	-	-									
5	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	290 頭	-	-									
5	タヌキ	緊急捕獲活動支援事業	148 頭	-	-									
5	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	346 頭	-	-									
5	カラス類	緊急捕獲活動支援事業	30 頭	-	-									
5	ニホンジカ(成獣)	緊急捕獲活動支援事業	12 頭	-	-									
5	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	4 頭	-	-									
5	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	24 頭	-	-									
5	カワウ	緊急捕獲活動支援事業	2 頭	-	-									
5	サギ類	緊急捕獲活動支援事業	50 頭	-	-									

総社市(総社市鳥獣被害防止対策協議会)		総社市																
4	イノシシ	鳥獣被害防止総合支援事業(鳥獣被害防止施設整備〔ワイヤーメッシュ柵〕)	1,800 m	総社市鳥獣被害防止対策協議会	R4.9.28	100%	イノシシによる農作物への被害が顕著な下倉地区内の桃園地の防護のため、園地の周囲にワイヤーメッシュ柵を整備し、野生動物の侵入を阻止するとともに、捕獲効率を高める。	-	-	-	-	-	-	-	-	ワイヤーメッシュ柵を整備した園地はイノシシ被害が少なく、今後も維持管理を徹底し、被害を最小限に抑えていく。さらに猟友会とも連携し、捕獲効率も高めていく。	積極的な捕獲活動及び防護対策の結果、被害面積は目標達成したが、被害金額は目標未達の状況となっている。被害金額は目標未達とはいえ、年々被害金額は減少し、対策の効果が徐々に発揮されていると思われる。今後も、積極的な捕獲活動及び防護柵の設置や追い払い等効果的な防護活動を継続し、被害軽減に努めていきたい。 (備中県民局農畜産物生産課)	被害金額は目標を達成できなかったが、被害面積は目標を達成できており、一定以上の成果が上がっている。今後、被害面積の低減のため、防護と捕獲の一体的な対策の更なる推進に取り組んでいただきたい。
4	カラス	鷹匠によるカラスの追い払い	14 回	総社市鳥獣被害防止対策協議会	R4.6	100%	カラスによる桃の食害が深刻なため、鷹による追い払いを行う。	-	-	-	-	-	-	-	-	鷹匠・CGWについては一定の効果が見られたが、カラスの慣れによる被害の再発を防止するため、継続的に効果を検証する必要がある。		
4	カラス	カラス忌避音を利用した追い払い	8 カ月	総社市鳥獣被害防止対策協議会	R4.6	100%	カラスによる桃の食害が深刻なため、忌避音による追い払いを行う。	-	-	-	-	-	-	-	-	一定の効果が見られたが、カラスの慣れによる被害の再発を防止するため、継続的に効果を検証する必要がある。		
5	カラス	カラス忌避音を利用した追い払い	23 カ月	総社市鳥獣被害防止対策協議会	R5.6	100%	カラスによる桃の食害が深刻なため、忌避音による追い払いを行う。	-	-	-	-	-	-	-	-	一定の効果が見られたが、カラスの慣れによる被害の再発を防止するため、継続的に効果を検証する必要がある。		
3	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	181 頭	総社市鳥獣被害防止対策協議会	-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数調整	918	984	49%	9.4	9.7	80%	猟友会との連携を強化し、効果的な捕獲・駆除対策を講じる必要がある。				
3	イノシシ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	30 頭		-	-												
3	シカ	緊急捕獲活動支援事業	13 頭		-	-												
3	シカ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	0 頭		-	-												
3	ニホンザル	緊急捕獲活動支援事業	5 頭		-	-												
3	ニホンザル(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	2 頭		-	-												
3	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	2 頭		-	-												
4	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	264 頭		-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数調整	918	940	83%	9.4	8.8	140%					
4	イノシシ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	3 頭		-	-												
4	シカ	緊急捕獲活動支援事業	5 頭		-	-												
4	シカ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	0 頭		-	-												
4	ニホンザル	緊急捕獲活動支援事業	6 頭		-	-												
4	ニホンザル(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	1 頭		-	-												
4	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	0 頭		-	-												
5	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	187 頭		-	-	農作物被害の減少、有害鳥獣の個体数調整	918	939	84%	9.4	8.7	147%					
5	イノシシ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	19 頭		-	-												
5	シカ	緊急捕獲活動支援事業	5 頭		-	-												
5	シカ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	0 頭		-	-												
5	ニホンザル	緊急捕獲活動支援事業	2 頭		-	-												
5	ニホンザル(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	0 頭	-	-													
5	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	5 頭	-	-													

津山市鳥獣被害防止対策協議会	津山市	5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	1,178 m	津山市鳥獣被害防止対策協議会	R5.12.10	100%	・集落と山の境界で、イノシシ、シカ、サルによる水稲等の被害が多発していたことから、緊急捕獲活動支援事業を活用し山中において津山市鳥獣被害対策実施隊が有害捕獲を行うとともに、集落を囲うように山際に侵入防止柵を設置。進入路となる河川や道路に誘導捕獲柵わな及び箱ワナを設置し、地域農家による追い払いを行いつつ、侵入する個体の捕獲を実施。これらの取組により、津山市におけるシカの有害捕獲頭数は約12%増加(施設整備前の令和4年度では年間の有害捕獲頭数はイノシシ1,081頭。令和5年度に施設整備した結果、令和5年度のシカの有害捕獲頭数は1,576頭。)なお、イノシシについては防止柵と捕獲により有害捕獲頭数に減少傾向が見られる。	-	-	-	-	-	-	防護柵を整備した箇所においては、被害が起きておらず、効果的な防止対策が実施できている。有害捕獲については、侵入防止柵の設置により、野生獣の侵入経路が限定されることで捕獲効率が上がり、被害防止につながっていると考えられる。今後、鳥獣被害対策が遅れている地域では、鳥獣被害を被っている箇所もあるので、防護柵と有害捕獲を有効に活用して取り組んでいく予定である。また、今後高齢化等による捕獲の担い手不足の問題については、これから狩猟免許を取得しようとする人や狩猟免許を取得して間もない人を対象にした研修を実施して育成していこうと考えている。	被害の多くを占めるのはイノシシ、ヌートリアである。イノシシについては、防護柵の設置と捕獲を組み合わせることで効果的な取組を継続して被害低減につなげていきたい。ヌートリアについては、被害額も大きくなりつつあるが、市として捕獲奨励金の増額及び捕獲期間の通年化を図るなど被害低減に向けた対策もとられている。今後も継続的な取り組みを進めていきたい。(美作県民局農畜産物生産課)	特定の獣種において目標を達成できなかったが、防護対策による被害の抑制など、一定の成果が上がっている。今後は、被害が大きい獣種に対して一体的な対策を実施していただきたい。
										-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	800 m		R5.12.11	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	300 m		R5.12.11	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	5,156 m		R6.1.13	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	530 m		R6.1.13	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	542 m		R5.11.20	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	1,034 m		R5.12.14	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	1,700 m		R5.12.25	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	1,700 m		R5.11.19	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	3,329 m		R5.12.20	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	1,000 m		R5.11.24	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	1,140 m		R5.11.22	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	1,300 m		R5.11.26	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ・シカ	整備事業(鳥獣被害防止施設)	3,000 m		R5.12.10	100%		-	-	-	-	-	-			
		5	イノシシ	緊急捕獲活動支援事業	991 頭		-	-		6,748	7,479	57%	4.93	7.25	-87%			
		5	イノシシ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	39 頭		-	-										
		5	シカ	緊急捕獲活動支援事業	909 頭		-	-		473	152	370%	0.34	0.58	-167%			
		5	シカ(幼獣)	緊急捕獲活動支援事業	52 頭		-	-										
		5	ニホンザル	緊急捕獲活動支援事業	1 頭		-	-		803	20	490%	0.59	0.4	227%			
		5	ヌートリア	緊急捕獲活動支援事業	141 頭		-	-		217	4602	-7873%	0.18	5.4	-10340%			
		5	アナグマ	緊急捕獲活動支援事業	32 頭		-	-		-	-	-	-	-	-			
		5	アライグマ	緊急捕獲活動支援事業	2 頭		-	-		-	-	-	-	-	-			
		5	タヌキ	緊急捕獲活動支援事業	23 頭		-	-		-	-	-	-	-	-			
		5	ハクビシン	緊急捕獲活動支援事業	0 頭		-	-		-	-	-	-	-	-			
		5	鳥類	緊急捕獲活動支援事業	2 頭		-	-		-	-	-	-	-	-			
		5	シカ	シカ特別対策事業	450 頭		-	-		-	-	-	-	-	-			
		5	シカ(幼獣)	シカ特別対策事業	30 頭		-	-		-	-	-	-	-	-			

岡山県	岡山県 全域	3	イノシシ ニホンジカ カウウ他	広域捕獲活動 人材育成活動 ジビエ利用拡大	カワウ対策協議会 内水面におけるカワウ被害 防止対策 イノシシ・ニホンジカ生息 数推定調査等の実施 農業集落への生息状況 アンケート調査 カワウ生息状況調査 専門家の育成 新規狩猟免許取得者の 担い手育成 銃猟の担い手育成 捕獲獣処理勉強会 「おかやまジビエガイド」 の重版	岡山県	-	100%	・カワウ協議会による防止体制の整備 ・内水面におけるカワウ被害防止対策技術の向上 ・イノシシ・ニホンジカの生息数推定調査 ・イノシシ・ニホンジカの捕獲計画の作成 ・農業集落への生息状況アンケート調査 ・カワウ生息状況調査 ・普及指導員の早期技術習得の支援 ・新規狩猟免許取得者の担い手育成研修 ・銃猟の担い手育成研修 ・捕獲獣の処理の勉強会実施 ・ガイドブックを用いた県産ジビエの消費拡大、新規販路開拓の促進	-	-	-	-	-	-	・カワウについては、被害減少に向けた取組の強化を図るための協議会を開催した。また、内水面における被害防止対策を専門家の指導により実施した。 ・イノシシ・ニホンジカ生息状況により今後の生息数推定の向上につながるデータ収集を実施している。 ・イノシシ・ニホンジカの被害防止対策に向け生息状況調査結果の市町村への情報提供を行っている。 今後も農作物被害低減に向け、防護と捕獲一体となった取組を推進するために生息状況の情報提供を継続し行う必要がある。 ・約5,000集落への生息状況アンケート調査により、イノシシやニホンジカ等の生息状況と被害状況を年ごとに比較し、最近の傾向をつかみ、対策に活かすことができた。 ・カワウについて、今後の防止対策の基礎資料となるデータが得られた。 ・専門家育成に向けた研修会等の実施により、鳥獣害対策技術の向上が図られた。 ・新規狩猟免許取得者を対象とした鳥獣捕獲技術伝承研修の実施により、鳥獣被害対策の担い手を育成した。 ・捕獲獣処理勉強会では、捕獲獣の利活用対策としてペットフード利用の現状と展望について情報交換を行った。 ・県産ジビエの消費拡大や新たな販路開拓のため「おかやまジビエガイド」を重版した。 ・新規第一種銃猟免許取得者等に対し、銃猟に関する研修を実施し、基本的な知識から実践的な技術の習得につながった。	農作物等の鳥獣被害防止対策を推進するためには、捕獲事業の強化、捕獲従事者の育成・確保、出口対策としての処理加工の推進などの一連の施策を、県や市町村、関係団体等が連携して総合的に取り組んでいくことが重要と考える。県にリーダーシップをとっていただき、体制整備や担い手育成、捕獲獣処理の勉強会、県産ジビエの消費拡大などの取組の一層の強化をお願いする。(岡山県猟友会事務局)	-
岡山県	岡山県 全域	4	イノシシ ニホンジカ カウウ	広域捕獲活動 人材育成活動 ジビエ利用拡大	カワウ対策協議会 内水面におけるカワウ被害 防止対策 農業集落への生息状況 アンケート調査 イノシシ・ニホンジカ個体 数推定調査 サル生息状況調査 カワウ生息状況調査 専門技術の習得を目的とした研修の実施 新規狩猟免許取得促進のための担い手育成 新規狩猟者を対象とした研修の実施 捕獲獣処理対策に係る情報交換会 おかやまジビエスタンプラリーの開催	岡山県	-	100%	・カワウ対策協議会による防止体制の整備 ・内水面におけるカワウ被害防止対策技術の向上 ・農業集落への生息状況アンケート調査 ・イノシシ・ニホンジカの生息数推定調査 ・サルの生息数推定調査 ・カワウの生息状況調査 ・普及指導員の現場対応技術習得の支援 ・農業大学校生を対象とした狩猟免許取得促進 ・新規狩猟免許取得者を対象としたわなの一連技術の取得支援 ・捕獲獣の処理対策に係る情報交換 ・おかやまジビエのブランド確立と消費拡大	-	-	-	-	-	-	・カワウについては、被害減少に向けた取組の強化を図るための協議会を開催した。また、内水面における被害防止対策を専門家の指導により実施した。 ・約5,000集落への生息状況アンケート調査により、イノシシやニホンジカ等の生息状況と被害状況を年ごとに比較し、最近の傾向をつかみ、対策に活かすことができた。 ・イノシシ・ニホンジカの生息状況により今後の生息数推定の向上につながるデータ収集を実施している。 ・イノシシ・ニホンジカの被害防止対策に向け生息状況調査結果の市町村への情報提供を行っている。 今後も農作物被害軽減に向け、防護と捕獲一体となった取組を推進するために生息状況の情報提供を継続し行う必要がある。 ・サルについて、調査結果を市町村に報告し、今後の対策方針の提案を行った。 ・カワウについて、今後の防止対策の基礎資料となるデータが得られた。 ・普及指導員を対象とした研修会等の実施により、鳥獣害対策技術の向上が図られた。 ・岡山県農業大学校生を対象とした研修を実施し、新規狩猟免許取得の促進を図った。 ・新規狩猟免許取得者を対象とした鳥獣捕獲技術伝承研修の実施により、鳥獣被害対策の担い手を育成した。 ・捕獲獣処理対策に係る情報交換会では、捕獲獣の利活用対策としてペットフードの先進企業による事例紹介と情報交換を行った。 ・県産ジビエの消費拡大のため県全体のジビエ関係者と連携したデジタルスタンプラリーを開催した。	広域捕獲や人材育成、ジビエ利用拡大の各種取組みが、イノシシやニホンジカの捕獲数の増化につながっていると評価できる。引き続き、市町村や関係団体等と連携して、捕獲事業の強化や、近年、減少している銃猟も含めた担い手の確保・育成、処理加工の推進などの一連の施策に総合的に取り組んでいくことが重要と考える。(岡山県猟友会事務局)	-
岡山県	岡山県 全域	R5	イノシシ ニホンジカ カウウ他	広域捕獲活動 人材育成活動 ジビエ利用拡大	・カワウ対策協議会 ・内水面におけるカワウ被害 防止対策 ・農業集落への生息状況 アンケート調査 ・イノシシ・ニホンジカ個体 数推定調査 ・サル生息状況調査 ・カワウ生息状況調査 ・専門技術の習得を目的とした研修の実施 ・新規狩猟免許取得促進のための担い手育成 ・中国地域野生鳥獣対策 ネットワーク現地検討会 ・具体的な鳥獣被害対策 に関する総合的な入門セミナーの実施 ・新規狩猟者を対象とした 研修の実施 ・おかやまジビエスタンプ ラリーの開催	岡山県	-	100%	・カワウ対策協議会による防止体制の整備 ・内水面におけるカワウ被害防止対策技術の向上 ・農業集落への生息状況アンケート調査 ・イノシシ・ニホンジカの生息数推定調査 ・サルの生息数推定調査 ・カワウの生息状況調査 ・普及指導員の現場対応技術習得の支援 ・農業大学校生を対象とした狩猟免許取得促進 ・新規狩猟免許取得者を対象としたわなの一連技術の取得支援 ・他県の鳥獣被害対策に係る情報交換 ・地域の実情に応じた被害対策の促進 ・捕獲獣の処理対策に係る情報交換 ・おかやまジビエのブランド確立と消費拡大	-	-	-	-	-	-	・カワウについては、被害減少に向けた取組の強化を図るための協議会を開催した。また、内水面における被害防止対策を専門家の指導により実施した。 ・約5,000集落への生息状況アンケート調査により、イノシシやニホンジカ等の生息状況と被害状況を年ごとに比較し、最近の傾向をつかみ、対策に活かすことができた。 ・イノシシ・ニホンジカの生息状況により今後の生息数推定の向上につながるデータ収集を実施している。 ・イノシシ・ニホンジカの被害防止対策に向け生息状況調査結果の市町村への情報提供を行っている。 今後も農作物被害軽減に向け、防護と捕獲一体となった取組を推進するために生息状況の情報提供を継続し行う必要がある。 ・サルについて、調査結果を市町村に報告し、今後の対策方針の提案を行った。 ・カワウについて、今後の防止対策の基礎資料となるデータが得られた。 ・普及指導員を対象とした研修会等の実施により、鳥獣害対策技術の向上が図られた。 ・岡山県農業大学校生を対象とした研修を実施し、新規狩猟免許取得の促進を図った。 ・中国地域の他県の担当者との現地検討会では、市町村や専門家と連携した対策について事例紹介と情報交換を行った。 ・地域の狩猟関係者と連携し、具体的な捕獲方法等に関する研修会を実施することで、地域の実情に応じた被害対策の促進を図った。 ・新規狩猟免許取得者を対象とした鳥獣捕獲技術伝承研修の実施により、鳥獣被害対策の担い手を育成した。 ・捕獲獣処理対策に係る情報交換会では、捕獲獣の利活用対策としてペットフードの先進企業による事例紹介と情報交換を行った。 ・県産ジビエの消費拡大のため県全体のジビエ関係者と連携したデジタルスタンプラリーを開催した。	狩猟者の減少と高齢化が進む中、農作物等への被害被害を防止するためには、市町村や関係団体等が連携して、引き続き、新規狩猟者の確保・育成に取り組むことが必要と考える。(岡山県猟友会事務局)	-

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。

3:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。

5:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。

5 都道府県による総合的評価

県全体での農林水産業被害金額は、令和5年度で、約2.8億円と前年度より微増しており、依然として高い水準で推移している。各市町村の有害鳥獣の強化対策から捕獲頭数は増加傾向にあるが、被害の減少に向けて、引き続き捕獲強化を図る必要がある。また、防護対策を実施した地域については、農作物被害は減少しているものの、防護対策を実施していない地域において、被害の増加が見られることから、今後も防護と捕獲の一体となった取組を継続するとともに、専門家と連携した効果的な対策を実施する必要がある。野生鳥獣被害による農作物等の被害防止に向け、守る「防護」と有害鳥獣の「捕獲」、捕獲獣の「利活用」を引き続き支援し、第二種特定鳥獣管理計画に基づき、鳥獣被害防止対策を効果的かつ強力に実施するとともに、狩猟免許取得への助成や若手狩猟者の技術向上を進め、鳥獣被害対策を進める人材確保・育成対策の強化を図る。

別記様式第8号関係様式

鳥獣被害防止施設等設置後の被害状況等について

事業実施主体名	市町村名	地区名	竣工年月日	侵入防止柵の種類・設置距離	事業費(円)	国費(円)	被害金額(円) 被害面積(m ²) 被害量(kg)	被害が生じた場合の要因と事業実施主体等が講じた対応策	事業実施主体等が講じた設置にかかる指導内容	事業実施主体等が行っている維持管理方法	事業実施主体等における維持管理状況	都道府県における点検・指導状況	その他
井原市有害鳥獣被害防止対策協議会	井原市	美星町宇戸宇戸団地	R4.3.16	ワイヤーメッシュ柵 1,697m	2,258,667	2,258,667	0(円) 0(m) 0(kg)	-	完了検査時に、定期的に見回りをし、適時草刈りと柵の補修を実施するよう指導	防護柵の維持管理・補修作業について受益者と管理委託の協定を結んでいる。	適時草刈りを実施している。	市町村担当者会議等での指導・助言	実施年度：令和3年度
		美星町大倉大倉団地	R4.3.16	ワイヤーメッシュ柵 1,265m	1,683,686	1,683,686	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和3年度
		美星町明治金黒団地	R4.3.16	ワイヤーメッシュ柵 2,414m	3,212,978	3,212,978	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和3年度
		美星町明治鷹ノ甲団地	R4.3.16	ワイヤーメッシュ柵 2,666m	3,548,384	3,548,384	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和3年度
		野上町細見細見団地	R4.3.16	ワイヤーメッシュ柵 409m	544,369	544,369	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和3年度
		美星町星田・黒忠向組団地	R4.3.16	ワイヤーメッシュ柵 4,562m	6,071,916	6,071,916	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和3年度
		美星町黒忠向組団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 5,752m	8,139,219	8,139,219	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
		美星町黒忠本村中団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 15m	22,781	22,781	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
		美星町黒忠向組団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 1,322m	1,870,287	1,870,287	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
		美星町宇戸谷宇戸谷団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 1,108m	1,567,533	1,567,533	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
		美星町三山上り田団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 2,447m	3,461,870	3,461,870	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
		美星町三山迫団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 1,572m	2,223,972	2,223,972	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
		美星町黒忠柳木団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 1,260m	1,782,574	1,782,574	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
		美星町黒忠本村中団地	R5.2.27	ワイヤーメッシュ柵 21m	31,764	31,764	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度：令和4年度
美星町黒忠本村中団地	R6.1.29	ワイヤーメッシュ柵 895m	1,264,000	1,264,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度：令和5年度						
総社市鳥獣被害防止対策協議会	総社市	下倉	令和5年9月28日	ワイヤーメッシュ柵 L=1,800m、H=1m	1,281,500	1,205,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-	完成検査時に、月に一度の見回りを実施するとともに、春から秋にかけては草刈りを行うことを指導。	防護柵の維持管理・補修作業について、施設管理運用規定に基づいて行う。	定期的な見回り及び草刈り	市町村担当者会議等での指導・助言	実施年度：令和5年度

勝央町有害鳥獣被害対策協議会	勝央町	植月中(大砂)	令和6年3月22日	電気柵 L=1,040m	502,009	446,549	0(円) 0(m) 0(kg)	-	完成検査時に定期的な見回りと草刈り等の施設管理を実施することを指示。	地区と管理協定を締結し、維持管理は地区の住民で行う。補修費用が発生した場合は、地区負担。	定期的な見回り、草刈り等を地区住民で実施。	市町村担当者会議等での指導・助言	実施年度: 令和5年度
		植月北(高根)	令和6年3月22日	メッシュ柵 L=4,500m	9,097,287	8,092,258	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和5年度
		東吉田・畑屋	令和6年3月22日	メッシュ柵 L=950m	1,932,286	1,718,815	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和5年度
		上香山	令和6年3月22日	金網柵 L=1,200m	3,192,653	2,839,942	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和5年度
		植月中(河内)	令和6年3月22日	金網柵 L=2,050m	5,582,125	4,965,436	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和5年度
美咲町鳥獣被害防止対策協議会	美咲町	新城地区	令和4年3月25日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵6,600m	6,661,730	6,644,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-	維持管理の徹底	定期的に見回りをを行う。補修は地区で行う。	適宜巡回、草刈り等の管理を実施	市町村担当者会議等での指導・助言	実施年度: 令和3年度
			令和4年3月25日	シカ用ワイヤーメッシュ柵900m	837,540	836,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		境地区	令和4年3月25日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵3,000m	2,567,820	2,563,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		原田地区	令和4年3月25日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵2,500m	2,139,920	2,136,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		栃原地区	令和4年3月25日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵3,850m	3,396,230	3,388,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		峠和地区	令和4年3月25日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵2,100m	1,797,390	1,796,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		連石地区	令和4年3月25日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵3,000m	2,567,820	2,563,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		大戸下地区	令和4年3月25日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵6,000m	5,297,000	5,285,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		吉留地区	令和4年3月25日	シカ用ワイヤーメッシュ柵3,200m	4,168,400	4,161,000	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和3年度
		大峠和西地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵8,286m	7,024,667	6,524,402	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和4年度
		大峠和東地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵2,000m	1,695,894	1,574,894	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和4年度
		新城地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵1,600m	1,329,963	1,233,163	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和4年度
		錦織地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵3,000m	2,518,840	2,337,340	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和4年度
		境地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵2,000m	1,695,894	1,574,894	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和4年度
		越尾地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵1,000m	848,069	786,531	0(円) 0(m) 0(kg)	-					実施年度: 令和4年度

栃原地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵6,500m	6,359,176	5,905,426	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
西井和地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵2,000m	1,695,894	1,574,894	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
上口地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵2,500m	2,119,807	1,968,557	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
塩気地区	令和5年3月30日	シカ用ワイヤーメッシュ柵3,512m	4,636,247	4,344,575	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
重藤地区	令和5年3月30日	シカ用ワイヤーメッシュ柵4,800m	6,335,861	5,937,221	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
連石地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵1,500m	1,271,982	1,181,232	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
吉留地区	令和5年3月30日	シカ用ワイヤーメッシュ柵300m	396,662	371,747	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
定宗地区	令和5年3月30日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵3,600m	2,803,924	2,586,124	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和4年度
大井和西部地区	令和6年3月19日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵5,432m	4,512,212	4,512,212	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和5年度
塩気地区	令和6年3月19日	シカ用ワイヤーメッシュ柵2,065m	2,551,494	2,551,494	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和5年度
連石地区	令和6年3月19日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵1,983m	1,680,580	1,680,580	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和5年度
定宗・大戸上地区	令和6年3月19日	イノシシ用ワイヤーメッシュ柵5,178m	3,239,653	3,239,653	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和5年度
塚角地区	令和6年3月19日	シカ用ワイヤーメッシュ柵298m	343,061	343,061	0(円) 0(m) 0(kg)	-	実施年度:令和5年度